



2022年度事業計画

一般社団法人沼津青年会議所

基本理念

青年としての自覚と信念を持ち

輝く未来を描こう

基本方針

1. 主体的に取り組むことができる人材育成
2. 全会員による会員拡大
3. 輝く未来につながるまちづくり
4. 沼津青年会議所を理解していただく広報

2022年度 JCI 沼津スローガン

^{あす}
未来にきらめけ

2022年度 理事長所信

理事長 向坂 真奈美

【はじめに】

沼津に青年会議所の火が灯り、本年で68年となります。その間、私たちは明るい豊かな社会の実現に向けて活動してまいりました。幾多の苦難があり、その度に諸先輩方が諦めることなく挑戦し続けて来たからこそ「現在」があるのです。

現在、私たちを取り巻く環境は、やはり新型コロナウイルスに大きな影響を与えられていることであると言えます。新型コロナウイルスは、2019年の終わりに確認されて以来、瞬く間に世界中で広まり、私たちが住むまちにおいても、経済の低迷、生活様式の変化など様々な影響を及ぼしました。このような時だからこそ私たち自身が、現実^{いま}に目を背けたり、落胆するばかりではなく、立ち上がらなければなりません。私たち会員一人ひとりが未来を切り拓く信念を持ち、このまちを想う行動こそが青年会議所が目指す明るい豊かな社会の実現へとつながるのです。この社会が実現するその日まで、歩みを止める事なくこのまちの未来が輝くものであるよう団結し運動を展開してまいります。

【沼津青年会議所会員としての資質向上】

青年会議所は、「大人の学び舎」として例えられ、会社や日常生活では味わえない日々の活動や出向先での経験、様々な人たちとの出会いによる経験などから、自らの知識を深め、積極的な行動力や品格を身につけることができます。しかし、この組織が持つ40歳までの限られた時間の中で、与えられたことをただ実施し、日々を漫然と過ごすだけでは、より多くのこれらの成長を遂げることはできません。大切なことは、目的に対して成功するか失敗するかではなく、自ら行動をし、目の前の物事に諦めることなく真摯に向き合い真剣に取り組む姿勢です。この姿勢こそが私たちを格段に成長させる一歩となり、信念を貫くことができる人材となるのではないのでしょうか。また、この過程の中で会員同士が様々な角度から議論し、共に分かち合い、共に困難を乗り越えることで、自己の成長のみならず、他を想う気持ちが芽生えこのまちのことを想う人材へと成長すると確信しています。本年度は、会員一人ひとりが未来を切り拓く信念を持ち、このまちを想う行動ができる人材育成を積極的に実施してまいります。

【全会員による会員拡大】

青年会議所は20歳から40歳までしか在籍できないという特色があります。これは、常に組織を若々しく保ち、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された団体だからです。そのため40歳を超えた会員は現役を退かなければならず、新しい仲間を増やすことができなければ、組織から活力は失われるでしょう。現在、沼津青年会議所では

会員数の減少に歯止めがかからず苦戦しています。最も多かった時期は170名程の会員数を有していた沼津青年会議所も今では20名程となっており、会員拡大が急務となっています。

常に新しい人材を迎え入れる事は、多種多様な考え方を得ることにつながり、活動にも幅が広がることで組織全体がさらに活性化するなど、活動を支える原動力となります。私たちの目指す明るい豊かな社会の実現のため、会員一人ひとりが拡大の必要性を深く認識し、会員拡大を他人事とせず、一人でも多くの会員拡大を進めてまいります。

【地域の人々が輝くまちへ】

私たちが住むちは、全国から毎年たくさんの観光客を受け入れる伊豆の玄関口として、また静岡県東部の商業・文化拠点として古くからこのエリアの経済、文化の重要な役割を担ってきました。しかし、先に述べたように新型コロナウイルスという未曾有の感染症の蔓延により、学校の休校やイベントの自粛、飲食店の時短営業、不要不急の外出を控えるなど、人々の活動は制限されました。多くの人々はこの活動の制限により、明るい未来を見出すことができなくなってしまっています。私たち自身が、若き力を集結し、新型コロナウイルスの影響が残る中でも人々が希望を見出すことができるためにこの地域の課題を調査・研究し、人々が様々なことに諦めることなく前を向いて生きていくために、市民が輝くまちづくりを進めてまいります。

【時代に即した広報】

青年会議所の活動をより効果的に行うためには、青年会議所とはどのような団体でどのような活動を行っているのかをまちの人々、職場や家族等、幅広い世代の方々に周知し、理解者を増やす必要があります。現在、情報を伝える媒体には様々なものがありますが、これらに同様な記事を掲載しても今以上に理解者を増やすことは困難です。それぞれのターゲットに適した情報発信方法の広報計画を立案・実践し、効果的に伝える広報活動を展開してまいります。

【さいごに】

青年会議所は真剣に取り組むことで自らを高みに導いてくれる団体です。一年一年の積み重ねが自身を更なる高みへと導く新たな機会となり、その実りはこれからの人生に於いて大きな糧となります。20代、30代の青年期は成人としての社会的責任感を持ち、理想を追い求める事と実行に移す事が出来る年代であります。これからの人生を歩む上で最も重要な年代に青年会議所活動へと真摯に取り組み、互いに高め合う青年会議所という団体をこれからの人生で生かそうではありませんか。そして、卒業してからも青年会議所で培った経験を糧にして地域の発展に尽力する。これこそが青年会議所の扉を開いた私たちの使命なのではないでしょうか。

人生というダイヤモンド、これを磨いて輝かせるのも自分自身である。

一度きりの人生だからこそ自らが選んだ機会を逃す事なく、

今を生きる青年としての信念を貫き、向上心を持ち続け人生を輝かせよう。

まちづくり委員会事業計画

委員長 若林 愛弓
副委員長 松村 拓郎
予 算 1,000,000円

＜基本方針＞

このまちの明るい未来を見据えてまちの課題を調査・研究し、市民が輝くまちづくりを行う。

＜事業計画＞

1. 第1例会の企画運営(5月・7月・11月)
2. 地域の調査・研究に関する業務
3. JC富士山交流会に関する業務
4. JCサミットIZU会議に関する業務

＜活動予定表＞

[illegible]

広報事業計画

担当理事 藤川 淳
予 算 400,000円

＜基本方針＞

沼津青年会議所をより多くの人に知ってもらうために、幅広い世代に対応した広報活動を実施する。

＜事業計画＞

1. プロモーション映像作成・配信
2. 例会・事業・セミナー等の活動記録・広報業務
3. WEBサイトに関する業務

＜活動予定表＞

[illegible]

総務・財務委員会事業計画

委員 堀江 直樹
副委員 長 芹澤 俊和
予 算 130,000円

＜基本方針＞

運営規程及び会計規程、その他規程に定められた業務を遂行し、沼津青年会議所の運営と会員の活動が円滑に行えるための支援をする。

＜事業計画＞

1. 第1例会の企画運営(2月・3月・6月・8月・9月)
2. 総会の設営、運営(2月・8月・12月定時総会)
3. 財務審査
4. 理事会の設営・運営並びに議事録作成・管理
5. 会員名簿の管理並びに年次報告書の作成
6. 事務局の運営・維持・管理
7. シニアクラブに関する業務
8. 会員向けメールマガジンの発行・公式LINEの管理
9. LOM外の各種大会及びセミナー等に関する登録業務及び参加行動計画の作成・実行
10. 出向者フォロー
11. 龍山国際青年商會との連絡調整窓口
12. 運営規程並びに会計規程に定められた業務

＜活動予定表＞

[illegible]

委員 長 松 山 冬 輝
副委員 長 十 川 和 也
予 算 550,000円

会員資質の向上を図り主体性を持って行動できる人材の育成を図る。会員相互の絆を深め、組織の強化に繋げる。

1. 第1例会の企画運営(1月・4月・10月・12月)
2. 新入会員育成セミナーに関する業務
3. 例会セレモニーの準備並びに受付業務
4. 会員の資質向上に関する業務
5. 運営規程に定められた業務

[illegible]

会員拡大事業計画

担当理事 小野 大輔
予 算 0円

＜基本方針＞

会員全員の拡大に対する意識をさらに向上させ、会員全員での会員拡大を達成する。

＜事業計画＞

1. 会員拡大に関する業務
2. 新入会員オリエンテーションの企画・設営
3. ゲスト及び新入会員のフォロー

＜活動予定表＞

[illegible]

出 向 者

◎公益社団法人日本青年会議所 出向者

国 際 グ ル ー プ グ ロ ー バ ル
ネ ッ ト ワ ー ク 創 造 会 議

大 川 皓 平

◎静岡ブロック協議会 出向者

ア カ デ ミ ー 委 員 会

松 村 拓 郎

魅 力 溢 れ る 静 岡 創 造 委 員 会

峰 田 泰 成

ビ ジ ネ ス 委 員 会

小 野 大 輔

山 下 太 一

デ ジ タ ル 委 員 会 副 委 員 長

高 木 隆 太

松 山 冬 輝

◎行政等委任委員

エフエムぬまづ株式会社 取締役	理 事 長
沼津駅の高架化を実現する市民の会 副会長	理 事 長
公益財団法人沼津振興公社 理事	理 事 長
沼津市特別職報酬審議会 委員	理 事 長
沼津市社会福祉協議会 評議員	理 事 長
沼津市夏まつり実行委員会灯ろう流し部会長	副 理 事 長
沼津市暴力追放推進協議会 監事	副 理 事 長
沼津国際交流協会 理事	副 理 事 長
燦々ぬまづ推進委員会	副 理 事 長
沼津市「社会を明るくする運動」実施委員会	副 理 事 長
エフエムぬまづ番組審議委員会	副 理 事 長
沼津市市民憲章推進協議会	専 務 理 事
沼津夏まつり実行委員会	専 務 理 事
沼津駅高架化を実現する市民の会 事務局	専 務 理 事
沼津市緑化推進協議会	専 務 理 事
沼津の森実行委員会	専 務 理 事
沼津市明るい選挙推進協議会	専 務 理 事

2022年度例会担当表

月	総 会		第1例会	
1			16 (日)	会員・研修委員会
2	8 (火)	総務・財務委員会 定時総会	8 (火)	総務・財務委員会 定時総会
3			18 (金)	総務・財務委員会 東部9JC(富士)
4			8 (金)	会員・研修委員会 沼津JCデー
5			6 (金)	まちづくり委員会
6			8 (水)	総務・財務委員会
7			29 (金)	まちづくり委員会 狩野川灯ろう流し
8	8 (月)	総務・財務委員会 定時総会	8 (月)	総務・財務委員会 定時総会
9			4 (日)	総務・財務委員会 第55回静岡ブロック大会(磐田)
10			7 (金)	会員・研修委員会 新入会員育成セミナー最終会議
11			8 (火)	まちづくり委員会
12	1 (木)	総務・財務委員会 定時総会	8 (木)	会員・研修委員会

定例会議・委員会日(案)

会合日		会 合 名	時 間	場 所
第1水曜日		正副理事長会議	19:00 ~ 21:00	JCルーム
第3水曜日		理事会	19:30 ~ 21:30	JCルーム
8日		第1例会		
各月末日		財務審査	19:30 ~ 21:30	JCルーム
定例会議日	第2火曜日	まちづくり委員会	14:00 ~ 16:00	JCルーム
	毎月21日	総務・財務委員会	19:30 ~ 21:30	
	第4日曜日	会員・研修委員会	20:00 ~ 22:00	

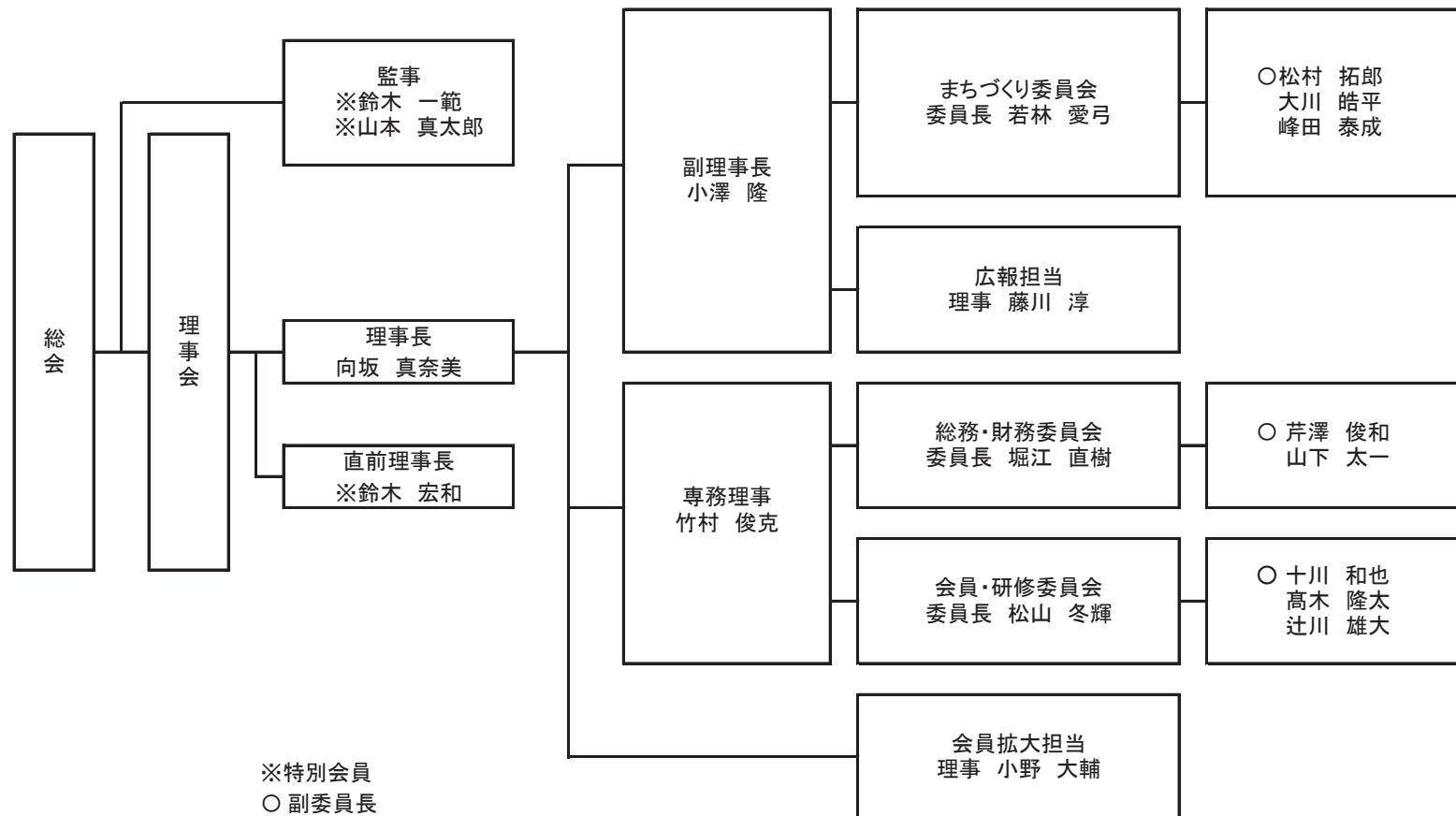
月1回	JCルーム清掃日	
-----	----------	--

2022年度 公式日程

	日本JC・JCI	東海地区	静岡ブロック	記念式典	例会等	理事会
1月	22日(土) 京都会議 22日(土) 総会 (京都)		30日(日) 第1回会員会議所会議 第1回出向者合同会議 (熱海)		16日(日) 第1例会	19日(水)
2月			27日(日) 第2回会員会議所会議 (磐田)		8日(火) 第1例会 定時総会	16日(水)
3月	26日(土) 総会 (未定)				18日(金) 第1例会 東部9JC合同公式訪問例会 (富士)	16日(水)
4月			24日(日) 第3回会員会議所会議 (磐田)		8日(金) 第1例会 沼津JCデー	20日(水)
5月	26(木)～29日(日) JCI ASPAC (日本 堺高石)		29日(日) 第4回会員会議所会議 (磐田)		6日(金) 第1例会	18日(水)
6月					8日(水) 第1例会	15日(水)
7月	16(土)～17日(日) サマーコンファレンス (横浜)	未定 東海フォーラム (未定)			29日(金) 第1例会 狩野川灯ろう流し	20日(水)
8月					8日(月) 第1例会 定時総会	17日(水)
9月			3日(土) 第5回会員会議所会議 (磐田) 4日(日) 第55回静岡ブロック大会 (磐田)		4日(日) 第1例会 第55回静岡ブロック大会 (磐田)	21日(水)
10月	7(金)～10日(月) 全国大会 8日(土) 総会 (大分) 31日(月)～ JCI世界会議 (香港)		23日(日) 第6回会員会議所会議 第2回出向者合同会議 (浜松)		7日(金) 第1例会 新入会員育成セミナー最終会議	19日(水)
11月	～4日(金) JCI世界会議 (香港)				8日(火) 第1例会	16日(水)
12月			7日(水) 第7回会員会議所会議 (在宅)		8日(木) 第1例会 1日(木) 定時総会	21日(水)

一般社団法人沼津青年会議所

2022年度 組織図



特別會員

59	故 宇野 紳七郎 (03年永眠)	故 岡田 剛武 (19年永眠) 菊地 俊雄 佐藤 徳太郎 故 佐藤 亘弘 (07年永眠) 故 平山 義人 (98年永眠) 故 山田 喜万 (16年永眠) 故 吉田 修 (93年永眠)	一場 道彦 岩崎 英一 近藤 剛 酒井 吉彦 三高 正明 関原 規由 堤 正喜 長澤 芳明 故 久松 繁 (99年永眠) 山田 憲市	後藤 健 佐藤 直毅 庄司 邦夫 外 信之 田中 治之 牧野 栄一郎 山口 和一 山田 和彦	01	市川 浩康 植松 清仁 荻原 誠 小野 弘人 加藤 功 白壁 圭一 高橋 卓己 平野 裕行 吉野 聖一 渡辺 周	09	芦澤 剛彦 故 小笠原 啓之 (17年永眠) 柴田 博司 土屋 雅一 土屋 雄一郎 堤 昭人 武藤 政敏 室伏 誠
61	故 野田 修 (15年永眠)						10	井草 雅彦 小笹 真也 川口 浩一 (19年永眠) 芹澤 剛 原田 浩 松田 一哉 米山 健
62	故 高橋 明 (15年永眠)						11	金子 恭子 軍司 芳孝 小早川 幸磁 故 神原 優子 (21年永眠) 二俣 延行
63	故 山内 益次郎 (06年永眠)						12	種田 善一 小平 賢一 菅沼 俊介 諏訪部 稔 半田 健治 渡邊 勝也
67	故 中山 欽司 (94年永眠) 故 石川 三雄 (90年永眠)	78	故 大川 正夫 (12年永眠) 故 近藤 安敏 (16年永眠) 杉山 実 故 名取 賢吉 (17年永眠) 真島 秀行				13	小山 弘道 諏訪部 剛志 高木 恵市 橋 泰正 山田 奈帆美 米元 孝一
68	友森 寛						14	勝又 康充 柴田 常有 曾布川 麻紀子 多久島 正邦
69	水口 昌夫	79	秋山 芳生 小川 義次 影山 恒義 故 桑原 史雄 (96年永眠) 故 鈴木 皓一郎 (02年永眠) 故 高村 光治 (16年永眠)				15	池田 高士 加藤 明子 川口 真澄 児島 佳代 杉澤 教人 園田 勝 十八公 浄滋 長島 玲美 宮下 秀人
71	故 大井 一郎 (16年永眠) 故 白壁 敏夫 (06年永眠) 故 鈴木 昭身 (21年永眠) 故 辻 昌吉 (05年永眠) 故 中川 茂男 (03年永眠) 故 中西 幸雄 (06年永眠)	80	故 石井 種生 (16年永眠) 今井 俊之 諏訪部 恭一 持田 真幸				16	遠藤 啓太 大村 智紀 岡田 貴幸 勝俣 孝明 木村 友一 鈴木 一範 鈴木 智善 武田 始久 土田 智 宮内 保昌 村松 弘充 森 拓也 山下 剛嗣
72	故 後藤 全弘 (19年永眠) 故 保坂 静夫 (15年永眠) 故 上 作一 (93年永眠) 故 安田 昌訓 (93年永眠)	81	故 伊藤 豪俊 (09年永眠) 小笹 皓平 小林 健次郎 白鳥 篤 故 南谷 直美 (19年永眠)				17	海野 雅貴 佐藤 将行 佐野 雅文 藤原 維仁 八木 航一
73	上田 雅義 故 植松 清高 (13年永眠) 大木 一男 故 金井 敬策 (08年永眠) 故 長谷川 愛次 (06年永眠) 故 松浦 喜男 (03年永眠)	82	芦川 稔 小笠原 一夫 金刺 勝 杉山 勲 宮沢 健二 村松 佳雄				18	天野 健太郎 小野 好之 上 哲也 昌宏 後藤 裕 長橋 良 中村 謙介
74	市川 厚 片岡 一郎 故 加藤 晴俊 (99年永眠) 小林 日出男 杉本 節生 杉山 一義 高橋 啓之 故 立木 栄一 (07年永眠) 故 早崎 恒治 (11年永眠) 故 北条 利郎 (10年永眠)	83	故 内野 鉄紀 (07年永眠) 故 小野 恭嗣 (12年永眠) 掛橋 弘 故 瀬戸 和海 (09年永眠) 竜野 輝夫 原 富太郎 増田 陽三 水田 嘉昭				19	伊藤 康広 金子 直史 清水 孝文 原田 健一 細溝 剛久 山本 真太郎
75	故 大川 順康 (10年永眠) 庄司 睦 故 田中 穂積 (98年永眠) 出木 超 野田 久雄 故 古郡 安雄 (11年永眠) 星谷 泰男 故 松田 久義 (03年永眠) 故 渡辺 孝雄 (04年永眠)	84	金崎 明弘 故 城所 延芳 (10年永眠) 後藤 靖雄 鈴木 隆義 高橋 浩 前田 唯良				20	伊藤 謙也 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宜与 藤島 章弘 山下 和信 渡辺 迅
76	池田 雅博 小西川 俊吾 故 柴田 栄吉 (11年永眠) 故 清 俊夫 (96年永眠) 高村 政明 坂東 功一 故 渡辺 良太郎 (17年永眠) 故 市川 治男 (88年永眠)	85	宇野 統彦 杉山 宏幸 鈴木 敏 辻 進 土屋 照夫 長橋 和彦 野永 巖 村松 敏弘 渡辺 洋				21	佐々木 綱柄 中沢 文昭 杉澤 研三 鈴木 宏和
77	故 遠藤 康昌 (02年永眠)	87	故 浅見 正昭 (13年永眠) 芦川 勝年					
		88	石川 利郎 植松 哲 故 長田 豊久 (11年永眠) 木村 保成 栗田 満 向坂 義次 庄司 一洋 杉山 裕将 高橋 正 長橋 靖 日吉 照郎 故 本多 均 (13年永眠) 故 大橋 博 (90年永眠)					
		89	赤堀 肇紀 居山 直行 (14年永眠) 古地 利和 長谷川 均 濱道 知 原 俊範 廣瀬 進一郎 藤田 昇 故 松下 方文 (18年永眠) 山田 薫					
		90	芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠) 大池 誠美 木村 雅志 鈴木 啓司 故 高橋 新一 (07年永眠) 安田 政義					
		91	板井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦					
		92	岩下 龍雄 故 植松 郁男 (03年永眠) 故 江本 宗昭 (21年永眠) 大嶽 輝晃 大嶽 稔裕 尾崎 敬治 加藤 進 工藤 恵子 後藤 正明 後藤 行宏 杉山 正則 鈴木 一郎 鈴木 典之 深瀬 和彦 望月 美樹 故 山内 一芳 (15年永眠)					
		93	故 石原 正和 (18年永眠) 井上 孝喜 尾澤 裕 小原 嘉弘 神部 藤男 五味 芳道 庄司 喜則 辻村 浜夫 平林 秀夫 前田 章 前田 耕輔 山本 豊一					
		94	綾部 恵市 石川 秀雄 江藤 晃好 大橋 英司 柏木 順孝 金井 隆直 神農 泰彦					
		95	井草 基之 故 岩崎 一弘 (13年永眠) 岡本 隆行 塩崎 享一 島本 祐史 鈴木 伯明 鈴木 泰博 水口 隆太 米山 明德					
		96	石井 裕 遠藤 利彦 佐々木 敏祐 杉山 由博 鈴木 延孝 鈴木 正之 松井 泰樹					
		97	石川 雄一郎 井村 和弘 尾和 康男 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 桜井 康雄 庄司 喜一郎 田代 功 浩 森田 州治 山口 和也					
		98	金澤 清文 上 精一郎 故 近藤 恒二郎 (01年永眠) 故 佐藤 浩人 (17年永眠) 鈴木 一 名取 正純 増山 敬一 宮澤 英紀 渡邊 聡					
		99	故 秋山 佳彦 (17年永眠) 稲葉 茂 梅島 佐一 遠藤 豪 長田 健一 柏木 雅博 上條 篤士 木村 光正 工藤 政則 久保田 実 近藤 千秋 後藤 竜樹 斉藤 和子 塩崎 栄一 (04年永眠) 故 鈴木 孝明 (06年永眠) 高橋 誠 土屋 英治 土屋 恭博 袴田 敏照 橋本 賢一 保坂 孝始 故 峯村 重輝 (06年永眠) 渡邊 朗					
		00	井口 清 大野 哲広 大場 公嘉 岡元 貴宏 柏木 剛示 木村 幸男 小林 龍司 小林 俊史 鈴木 康哲 芹沢 一幸 竹内 純子 徳田 和人 土井 宣博 中野 幸浩 野秋 和弘 服部 敏一郎 服部 隆利 福島 洋一郎 横山 政遵					
		01	市川 浩康 植松 清仁 荻原 誠 小野 弘人 加藤 功 白壁 圭一 高橋 卓己 平野 裕行 吉野 聖一 渡辺 周					
		02	石渡 慎一 小出 國雄 近藤 浩志 近藤 一臣 斎藤 哲一 斎藤 泰隆 庄司 孝司 鈴木 章喜 中江 喜和 服部 晴久 平山 智美 松下 紀代一 宮坂 知亮 村山 宜司					
		03	池田 宏明 伊藤 隆太 大村 英彰 奥村 泰宏 小野 茂 小野 博文 加藤 元章 金子 俊道 川口 博賢 國武 正樹 後藤 英一郎 清水 誠 鈴木 直人 故 吉川 直人 (17年永眠) 渡邊 豊					
		04	青木 秀実 青嶋 陸憲 池田 康男 池田 由佳 石川 佐和子 市川 隆一 岸本 隆 小林 恵美子 小林 孝彦 近藤 孝 高木 浩 永田 光浩 福室 健一郎 室伏 強 安江 智昭 山崎 真一					
		05	飯田 太志 大石 将勝 大石 智幸 金澤 俊彦 工藤 卓也 栗原 雅樹 杉山 登 清谷 浩 露木 育男					
		06	井出 尚武 大城 一真 岡田 貴之 岡原 政彦 平野 正裕 前田 泰広					
		07	伊海 康之 植松 豊 木村 守 小林 太郎 榊原 晃 鈴木 浩之 鈴木 克実 高橋 基 常峯 孝幸 松本 優紀子 三須 王左武					
		08	伊藤 謙也 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宜与 藤島 章弘 山下 和信 渡辺 迅					

入会年度年齢表

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	生年 (年齢)	卒業 人数
												82 (40)	0
												83 (39)	0
					山下				芹澤			84 (38)	2
向坂							小澤					85 (37)	2
	竹村										若林	86 (36)	2
						大川				松山		87 (35)	2
						峰田				辻川		88 (34)	2
										十川		89 (33)	1
						高木						90 (32)	1
												91 (31)	0
									小野	藤川		92 (30)	2
										堀江		93 (29)	1
												94 (28)	0
												95 (27)	0
										松村		96 (26)	1

※アンダーバーは早生まれ